

交運労協 FAX ニュース NO. 7

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階 発行日 2019年4月19日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 高松 伸幸

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

【2019年政策・制度要求】

国土交通省鉄道局と交渉・要請を行う！

交運労協は、4月19日15時30分より、国土交通省1階共用会議室において、「2019年政策・制度要求」の鉄道局関係の要求について国土交通省から回答を受けた。交運労協からは6名が出席するとともに、政策推進議員懇談会の松田功衆議院議員および増子輝彦参議院議員の秘書にも同席いただいた。

冒頭、国交省を代表して鉄道局の五十嵐総務課長が挨拶し、「鉄道局の課題として4点ある。一つは頻発する自然災害対策、安全・安心の確保。二つはグローバル化の中でのインバウンド対策。三つは多様性社会におけるバリアフリーと地域公共交通の維持・拡充。そして四つがMaasに代表されるICT・技術革新だ。鉄道



における自動運転の導入など、現場の声をしっかり受けとめながら生産性の向上も図っていかなくてはならない。鉄道局の権限・予算も減ってきている中、交運労協の皆さんとは同志として意見交換を行なっていきたい」と述べた。



交運労協から高松事務局長が挨拶した後、要求に対して各担当課が回答を行った。鉄道局からの回答を踏まえて、意見交換の場に移り、JR連合中村交通政策部長が、①鉄道軌道整備法が改正されたものの、昨年の西日本豪雨で甚大な被害を受けたJR西日本に補助が適用されなかったことについては疑問が残る。今後の考え方について伺いたい②北陸新

幹線敦賀以西の早期開業を求めるとともに四国新幹線の整備に向けた調査の内容について伺いたい、などと質問した。

国労の松川書記長からは、地方ローカル線の廃止にあたっては地域住民の理

解を求めるべきとの意見が出され、私鉄総連の村上総合政策局主任書記が①地方鉄道において木製枕木からコンクリート製枕木への交換は莫大な費用がかかることから、さらなる補助の拡充を要請する②「更なるバリアフリー加速化料金」導入に向けた議論の進捗状況を伺いたい、などと質問した。

これらに対して、各担当課から答弁され、有意義な意見交換の場となった。

＜2019年政策・制度要求(鉄道局関係項目のみ)＞

1. 都市鉄道の整備促進等について
2. 地域公共交通の維持・活性化等について
3. 整備新幹線の建設及び並行在来線の維持等について
4. モーダルシフトの促進について
5. 鉄道の安全・防災対策等について
6. バリアフリー設備の整備促進等について

以 上